大学･高専機能強化支援事業（支援１：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
実施状況報告書

選定年度	令和6年度	学校コード	F125310107324	設置等組織名	学校法人聖泉学園聖泉大学人間情報工学部人間情報工学科（仮称）
大学名	聖泉大学	設置区分	私立		
学校種	大学	都道府県	滋賀	事業計画名	聖泉大学人間情報工学部人間情報工学科（仮称）設置計画

１.フェーズ別の計画及び取組状況

フェーズ別の事業計画と取組状況、年度別の自己評価を記載してください。

当初計画から変更又は追加した取組がある場合は「取組状況」に取組を赤字で記載してください。また、計画変更申請をした場合は「取組状況」に承認日を赤字で記載してください。

計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応
フェーズ１	1-① 令和6年8月～ 滋賀県経済団体連合会（6団体：滋賀県商工会議所連合会、滋賀県商工会連合会、滋賀県中小企業団体中央会、滋賀経済同友会、滋賀経済産業協会、びわこビジターズビューロー）に対し新学部設置説明の実施と今後の経済産業界における人材ニーズ調査依頼。 1-② 令和6年10月～ 滋賀県健康医療福祉部医療政策課に対し新学部設置説明と医療DX化に必要な人材ニーズ調査依頼。 1-③ 令和6年12月～ 新学部設立に向けたプラットフォームの立上げ。上記各連合会、上記医療政策課、学識者（主にカリキュラム開発に関する専門家）、地域会議所からの参画を予定。及びその依頼。及び先進大学視察開始。 1-④ 令和7年1月 近隣府県教育委員会事務局に対し、委託業者に依頼し、高校１， ２年生への進路希望調査（工学系希望調査とDX化などデジタルデータ活用への興味関心などを問う）を依頼。及び実施。 1-⑤ 令和7年2月 調査結果を踏まえ、第1回プラットフォーム会議の開催。カリキュラムについても協議し、特にSTEAM教育をどう構築していくかを検討。 1-⑥ 令和7年3月～ 教員採用に関わる調査。及び入学試験について検討。 1-⑦ 令和7年3月～ 海外交流大学（中国、アメリカ、ベトナム）との連携の確認による現地視察。設置に合わせた協定書の作成を検討。 1-⑧ 令和6年8月～ 新学部設置室組織化（事務分掌）	1-① 令和６年11月～ 先進大学等視察及び実務経験者とのミーティング。 1-② 令和6年12月～ 滋賀県経済団体連合会（6団体：滋賀県商工会議所連合会、滋賀県商工会連合会、滋賀県中小企業団体中央会、滋賀経済同友会、滋賀経済産業協会、びわこビジターズビューロー）に対し新学部設置説明の実施と企業人事担当への採用意向などの事前調査（委託）。また高校生保護者向け進学推奨意向と新学部構想の評価に係る事前調査（委託）。 1-③ 令和6年12月～ 滋賀県健康医療福祉部医療政策課や地域上場企業に対し新学部設置説明と産業DX化と医療DX化に必要な人材のヒアリング。また高校教員や予備校職員に新学部構想の評価と進学推奨意向ヒアリング。 1-④ 令和6年12月下旬 事前調査結果を踏まえ新学部分野の志願者動向など文献調査（委託）。新学部構想に反映。 1-⑤ 令和7年1月～ 新学部設立に向けたプラットフォームの立上げに関して、上記各連合会、上記医療政策課、学識者（主にカリキュラム開発に関する専門家）、地域会議所からの参画を予定。及びその依頼。 1-⑥ 令和7年2月 事前調査結果を踏まえ、第1回プラットフォーム会議の開催。カリキュラムについても協議し、特にSTEAM教育をどう構築していくかを検討。 1-⑦ 令和7年3月～ 海外交流大学（中国）との連携の確認による現地視察。設置に合わせた協定書の作成を検討。 1-⑧ 令和6年10月～ 新学部設置室組織化（事務分掌）（R7.1.21承認）	R6年度自己評価 【２】計画を十分には実施していない。 事務分掌の再編や学内への情報共有や説明、また事前調査や学生確保に向けたニーズ調査などに係る委託業者の選定などに時間がかかり、フェーズ１での計画に大きな遅れが生じ、計画変更申請を行った。（R7.1.21承認） また、1-⑦ 海外交流大学との連携の確認による現地視察についても当初2名で渡航する予定だったが1名での渡航となり、その経費をその他（諸経費）としwebサイト構築のための費用への計画変更申請を行った。（R7.3.24承認） R7年度自己評価 【１】計画を実施していない。
フェーズ２ 前倒し	2-① 令和6年12月～ 新学部設置に係るリサーチセンター（仮称）とインキュベーションセンター（仮称）を併せた情報工学棟（仮称）の建設調査。 2-② 令和7年1月～ 現在の人間学部使用施設及び教室の改修のための調査。	2-① 予定地に遺構が見つかったが、事業断念のため本調査は実施せず。 2-② 事業断念のため実施せず。	R7年度自己評価 【１】計画を実施していない。
認可申請又は届出	令和８年３月人間情報工学部人間情報工学科（仮称）認可申請予定		
フェーズ１ 後倒し	1-⑤ 令和7年5月 第2回プラットフォーム会議の開催。カリキュラム構成案の作成。 1-⑨ 令和7年6月から継続して随時プラットフォーム会議を開催。事務局からの提案と係る協議を経て実施。 1-④ 令和7年9月から随時 近隣府県教育委員会事務局に対し、委託業者に依頼し、高校１， ２年生への第2回目の進路希望調査（工学系希望調査とDX化などデジタルデータ活用への興味関心などを問う）を依頼。及び実施。 1-⑩ 令和7年11月 カリキュラムの確定。教員採用に向けた調査継続。 1-⑪ 令和8年6月から継続して入試制度及び入学試験問題作成及び入試要項作成。 1-⑫ 令和8年3月～ 新学部学校案内パンフレット作成に向けた検討。	1-⑤ 令和7年7月 第2回プラットフォーム会議の開催。カリキュラム構成案の作成。 1-⑨ 令和7年7月から継続して随時プラットフォーム会議を開催。事務局からの提案と係る協議を経て実施。 1-④ 令和7年6月から随時 県内高校に対し、高校１， ２年生への進路希望アンケート（委託。工学系希望調査とDX化などデジタルデータ活用への興味関心などを問う）と8月から企業アンケート（委託。人材需要の見通しに係る）を実施。 1-⑩ 事業断念のため実施せず。 1-⑪ 事業断念のため実施せず。 1-⑫ 事業断念のため実施せず。	R7年度自己評価 【２】計画を十分には実施していない。 1-⑤,1-⑨,1-④については、ほぼ計画とおりに取り組むことが出来た。1-⑩,1-⑪,1-⑫については、事業断念のため実施できていない。
フェーズ	2-① 令和7年11月～ 新学部設置に係るリサーチセンター（仮称）とインキュベーションセンター（仮称）を併せた情報工学棟（仮称）の建設。 2-② 令和7年11月～ 現在の人間学部使用施設及び教室の改修。 2-③ 令和8年7月～ 情報工学棟設置のための施設設備整備。	2-① 事業断念のため実施せず。 2-② 事業断念のため実施せず。 2-③ 事業断念のため実施せず。	R7年度自己評価 【１】計画を実施していない。

2			
開設 又は定員増	令和９年４月　人間情報工学部人間情報工学科（仮称）開設予定（入学定員65人　工学関係・経済学関係）		
フェーズ2後倒し	2-③　令和9年4月～　追加的情報工学棟及び使用教室整備		○年度自己評価　リストから選択してください。
フェーズ3	3-①　令和9年3月から継続してオープンキャンパスの実施。新棟案内など。 3-②　令和9年6月から入学生募集に係る近隣府県高等学校への希望調査及び新しい入試制度の導入検討。 3-③　令和9年7月から継続して主に県内就職先調査。 3-④　令和9年8月から継続して海外交流大学との学生交流プログラムなど具体的な協議開始。及び実施期間の確定。 3-⑤　令和10年5月～連携交流協定大学への留学生（R10.9-R11.2予定）募集と本学への受入れ学生募集、海外企業へのインターンシップ調整。 3-⑥　令和10年10月から科目等履修生募集及び履修証明プログラム制度検討。令和12年度より実施予定。 3-⑦　令和10年6月から2回生による県内企業及び本学連携病院へのインターンシップ検討。 3-⑧　令和10年後期から実務経験者による特別講義の開催と公開授業の実施。 3-⑨　令和11年8月から海外インターンシップ実施。		○年度自己評価　リストから選択してください。 ○年度自己評価　リストから選択してください。 ○年度自己評価　リストから選択してください。
定員減又は学部等の廃止	①令和９年３月　人間学部人間心理学科廃止に係る届出予定 ②令和６年度より人間学部人間心理学科募集停止（減員数７５名、人文科学関係）		